

【議事録】第 2 回 策定委員会

■ 開催日時：令和 6 年 9 月 27 日（金） 13 時 00 分～15 時 00 分

■ 場 所：危機管理センター

■ 議 題：都市計画マスタープラン 全体構想 都市づくりの方針・施策の体系の確認

◇都市計画マスタープラン 全体構想について

■協議事項

～～資料説明～～

■質疑応答・意見交換

質疑応答、意見交換については下記に示すとおりである。

会長） 今回の資料は完成版ではなく、基本的なフレームを示したものである。これを鏡野町なりのオリジナルのものとしてどういう風に作りこんでいけるのか、というのが今回の計画づくりの肝である。各委員のそれぞれの立場から気持ちを伝えて頂き、この計画に盛り込んでいきたいと考えている。

E 委員） 病院としてはマンパワーをどう維持していくのかというところで苦労している。また、施設としては消防署、運動公園が水害に向けて高さを盛っており、防災拠点として使えるのではないのかと思う。

会長） 例えば高台まちづくりのように、今までに経験のない水害に備えるような盛り方があのエリアの一带には必要ではないか。また、今後どう人をつくっていくのかが大切だと思われるので、都市計画マスタープラン内にそういった表現を盛り込むことも考えられる。

E 委員） 病院においては事務作業も特殊になるため、スキルを持つ人材が定着しなくては、維持は難しくなる。中心都市から離れた場所では、そういった現象が進みつつある。

会長） 病院では薬剤師が不足している。院内薬局が難しくなり、院外薬局となったことにより、交通手段を持たない方の負担となることが課題である。そのため、DX 活用による対応も必要である。

F 委員） 人材不足が課題であり、募集をしても応募がない状態である。地域を回るアウトリーチを行いたい、福祉の手が回っていない状況である。また、若者の流出も課題。奥津の観光名所が生かせていない。人の交流や経済の活性化につなげていきたい。

会長） 奥津は良い資源が数多くある。どういう風に人を呼び込んでいくのか、やるべきことはあると思われる。

H 委員） 町役場を町の（地理上の）中心である奥津振興センターあたりに移動した方がいい。さらに北回り・南回りの周遊バスを循環させるような、人を動かす仕組みづくりが必要ではないか。都市計画マスタープランの将来都市構造図等は、町役場がここありきで進められているが、根本から考え直した方が良いのではと思う。また、町に

住む立場からすると、南北の格差に関して不満を感じる。役場を動かすことにより、バランスが取れるのではないかな。

会長) ここまで検討してきたものを戻すことはできないが、そもそも論として町は受け止めて頂きたい。今回のご意見は記録として残し、次の機会に生かしてほしい。

G 委員) にぎやかな町の中心地がほしい。人口減少の対策として、企業誘致が考えられる。例としては熊本県に建設された半導体企業等。若者が就職したいと思えるような知識集約型産業等どのような企業を誘致するか町が検討して誘致してほしい。これらに関して町はどうお考えなのか伺いたい。また、観光としては溪流を整備し、アドベンチャーゾーンやリゾートゾーンとしたら、自然を体感できるのではないかな。そして、夏が涼しいことを売りに『中国地方の軽井沢』のようなキャッチフレーズで宣伝していくことが考えられる。

会長) 企業誘致・学校誘致等を施策としてどこまで盛り込んでいくのかに関しては、町の宿題として持ち帰ってほしい。

町) 津山圏域としては、流通センター周辺に鏡野町のエリアもあるが、既に運送会社や工場等が入っており土地に余裕がなく、工業団地に企業誘致できない状態のため、県に要望している最中である。鏡野町内に誘致できるかはわからないが、そのあたりも含めて検討を進めている。

会長) 奥津周辺は、別荘地のように住んでもらえる地域となるのではないかと考える。

G 委員) 奥津周辺は次々と人がいなくなっている。その中には、外国の方に土地を売った話もあった。定住や定着する可能性が低い方々に購入されても、という複雑な気持ちもある。

副会長) 先月、外国の野球チームを呼んで、県南の 4 チームと共に交流試合を行った。彼らに鏡野町を知ってもらい、あわよくば住んでもらいたいという思いで行った。今後は、町の空き家をそういったインバウンドの方に無料で譲り、住んでもらう・使ってもらおうといった取り組みも必要ではないかと考える。それが人口増加に繋がるのではないかな。

会長) 人口を増やす必要があることを前提に、観光でどう人を呼び込むのか、空き家をどう活用するのか、が大きなテーマである。こういったフレーズを計画でおさえて頂きたい。

会長) 資料『鏡野町 都市計画マスタープラン・立地適正化計画』の本町の都市づくりの課題より課題 2『住宅環境の向上』とは具体的に何を指しているのか。

町) 具体的な記載としては、資料『鏡野町 都市計画マスタープラン・立地適正化計画』P25 の 1) 住宅系土地利用より、『快適で利便性の高い住環境の形成』の部分である。また、鏡野町総合計画においても『安全・安心な居住環境の整備』とあり、そちらとも整合性を図っている。

会長) 各方針のどこに委員のご意見が取り入れられているのかを教えてほしい。

町) 資料『鏡野町 都市計画マスタープラン・立地適正化計画』の P8～11 において前回の策定委員会のご意見と対応をまとめ、それを受けてどう計画に盛り込んでいるのかを、資料『鏡野町 都市計画マスタープラン・立地適正化計画』P11、12 に示して

いる。

会長) 町内で交通のネットワークを作る考え等はあるのか。

町) 国道 179 号においては、基幹交通が津山まで通っており、奥津・富・上齋原には無料の福祉バスが通っている。福祉バスに関しては現在、再編の準備を進めている。利便性の高い公共交通を目指して、公共交通計画で検討を進めている。

会長) 計画に盛り込む必要はないが、通勤・通学だけでなく、鏡野町の良い資源を生かした観光的なネットワークを重ねながら構想することもあるのではないかと。脱炭素化社会に向けた考え方の整理はされているのか。町としてどうしていくのかは言えるようにしておいたほうがいい。

町) 脱炭素については総合計画の中で『自然エネルギーの活用』と記載はあるが、個別の実施計画として現在はない状況である。公共施設関係において LED の導入等を行っているが、具体的な施策としては今のところ行っていない。民間企業に対する誘導施策も行っていない。大きな問題であることは承知しており、今後進めていきたいと考えている。

会長) 脱炭素については都市計画マスタープランの中で、町として今後こんな施策をしていくといった方向性を示す必要はあるのではと思われる。

H 委員) 現在、風力発電の計画が進められている。土地の売れる方々には賛成の方もいるが、大多数が反対をしている状況。町のハザードマップにおいては、それが危険な箇所に建とうとしている。この風力発電の計画が都市計画マスタープランに組み込まれていないのはなぜなのか。

昭和) 現状、その内容自体は存じていない。風力発電の計画については環境アセスメントの規定を満たし、何らかの法律に基づき、オフィシャルなものとして確定したのであれば、情報がきていると思われる。都市計画マスタープランは行政施策が主となるが、載せてもいいものに関しては組み込むことも考えられる。もし風力発電の計画が確定したのであれば、それを町と調整した上で、都市計画マスタープランに組み込むかを判断していく。

会長) 風力発電の計画に関しては、都市計画マスタープランに載せる載せないの話ではなく、住民の意見から出てきた課題として受け止める必要がある。その上で、施策としてどう判断するのかは町の判断となるとと思われる。

町) 資料『考え方の流れ』P3 の将来都市構造(案)に『「集落連担型都市構造」を形成します。』とあるが、こちらの名称が適切なのか検討を進めているところであり、言葉が変わることも考えられる。

会長) 将来都市構造において防災拠点の設定の必要はないのか。

昭和) 該当する施設がある場合は設定を行うことも考えられる。鏡野町においては町役場や防災公園、運動公園等を位置付けることも考えられる。

会長) 県との調整も必要ではあるが、役場だけでなく病院、広場等を含めた一帯を防災拠点とする必要があるのではと思われる。例えば、その一帯を高台化することにより、安全な拠点とする等。防災倉庫も拠点として整備すれば作り方が変わると思われる。また、防災拠点が町役場の周辺だけでなく、サブ拠点の位置付けがあってもいいの

ではと思われる。

昭和) 防災に関しては次回、防災指針にて説明を行う。何が防災上の課題なのか、対応する施策は何なのかを示す予定である。また、その際に防災拠点に関しても、設定するのか、どう位置付けるのかを担当課と調整し、検討を進めていく。

会長) 今までにない新たな位置づけとして防災拠点、防災コミュニティ、防災ネットワークといったものを築くことができるかもしれない。そういったものを都市計画マスタープランに書き入れていくことも考えられる。

F 委員) 北部の住民がほったらかしの印象である。内容が南部中心であるため、北部は移動手段が減少して空き家や耕作放棄地が増えていくのではという不安を抱いた。北部にも目を向けた計画になればと思った。

会長) 計画の中に、北部をどうしていくのか語る必要があると思われる。

町) 都市計画マスタープランにおいて、『地域間格差への対応』として記載する。また今後、地域別構想において詳しく書いていくので、そこで検討を進める。

H 委員) 岡山県中央部は断層がなく安全なため、土地が売れている。そういった観点に着目して、鏡野町においても比較的安全と思われるプラント 5 周辺等をアピールすることが考えられる。

会長) 資料『考え方の流れ』P2 の『都市計画の将来像』に関しては皆さんにアイデアを頂きたい。鏡野町を表現できるフレーズを入れていきたいため、アイデアがあれば、事務局に伝えてほしい。

町) 本日お渡しした資料だが、都市計画マスタープラン、立地適正化計画ともに(案)という文字が抜けており、現時点では決定していないことをご了承いただきたい。次回の策定委員会の開催日は年明け 1 月末～2 月にかけて予定している。詳細は改めて連絡する。

以上